

鹿角市医療ビジョンの策定について

R8.1.13

鹿角市

1. 医療ビジョン策定の背景

○地域中核病院であるかづの厚生病院の医療がどんどん縮小

- ・ H30年10月、大館市立総合病院への分娩集約
- ・ R6年10月、泌尿器科の新患受入日が週3日に減少
- ・ R7年4月、小児科の入院が中止

※さらに、R8年4月、脳神経外科が週3日の外来体制に縮小
(北東北の医師不足と働き方改革等により派遣が難しくなっている)

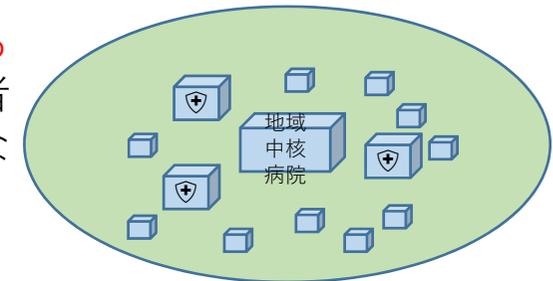
→このような状況下では、行政において地域中核病院の運営に対して支援を行うにもゴールが見えず、説明責任が果たしにくい。

○歯科医の高齢化と後継者難により、将来の必要医師数の確保が不安

○薬剤師からも、薬剤師減少に対する対策を求める声がある

○鹿角地域で健康診断を受けられなくて困っているという事業者の声がある。

⇒関係者は、**地域中核病院と他病院・診療所等との連携による鹿角地域の医療の将来像**について、医療機関（供給側）と患者（需要側）の事情を踏まえ、**持続可能な目標**を持つべきではないか？



2. 医療ビジョン策定の目的

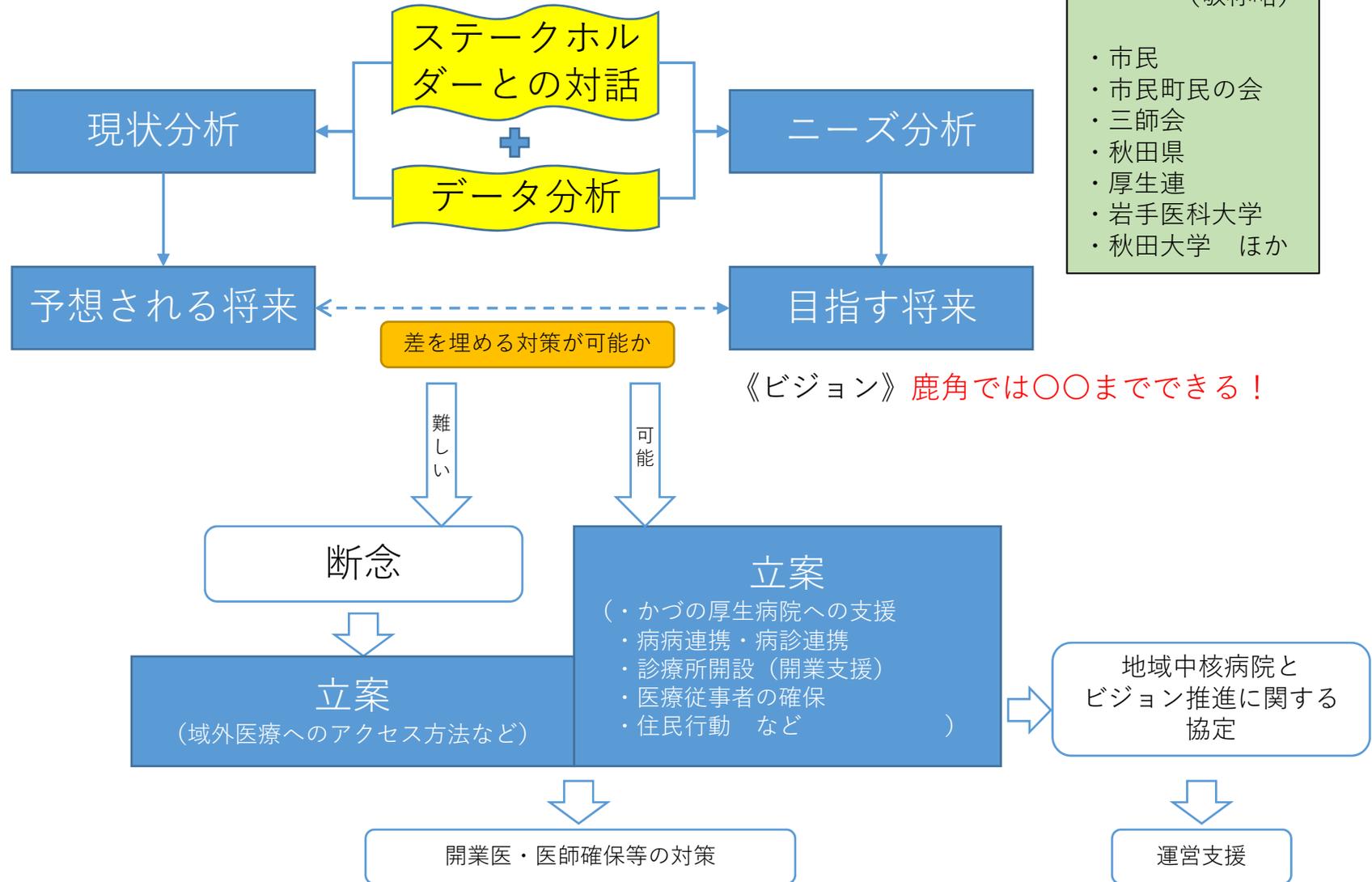
鹿角で受けられる医療（残すべき≒残せる医療）についてビジョンを関係者で共有し、地域の**推進力を高めて取り組む**ため、策定するもの

※地域の願いを、実現できるベースで“形”にする（見える化する）

※ビジョンの内容には、歯科、薬局、健診、予防接種を含む

3. 医療ビジョンの進め方

ステークホルダーとの徹底した対話に基づいて進める



4. 医療ビジョンスケジュール (R7~R8)

【R7】

